

上州水土舎

県産豚肉 無添加で

ソーセージや 障害者の製品販売



開店の準備に追われる施設の関係者

社会福祉法人「上州水土舎」(富岡市後賀、金谷透理事長)は1日、施設の障害者が作るハムやソーセージを販売する「赤城高原ミート前橋東店」を前橋市天川大島町に開設する。扱う商品は県産豚肉と本場ドイツのスパイスを使用。無添加で仕上げしており、大手百貨店の通信販売では「赤城屋」ブランドとして人気がある。店舗小売りは初めて、販売ルートを広げ、障害者の経済的自立につなげる。

前橋にきょう開店

商品を作るスタッフのほか、ジャムや納豆も手作りしている。は、通所で働く知的障害者50人。関係者をドイツに派遣して「本場の味」を実現した計40種類のハムとソーセージ

のほかに、ジャムや納豆も手作りしている。店舗はJR前橋大島駅近くに開設。社会福祉法人やボランティア団体の活動を支援する

日本財団(東京都港区)から12220万円の助成を受け、民間企業の社屋だった建物をリノベーションした。厨房を含めた店舗面積は165平方メートル。

人気のソーセージ「アプレツィーナ」は100号420円、ドイツ式のロースハム「カスラ」は同630円。県産の豚肉や牛肉、野菜類や納豆、ジャムも販売、年間2千万円の売り上げを目指す。店舗が軌道に乗れば、次の出店も検討する。

通信販売は贈答品やレストラン向けに一定の販路があり、売上高は安定的に推移している。2009年度は約3千万円だった。就労型の障害者施設

では、利用者の賃金確保が課題。同法人の平均賃金は、障害が重い生活介護施設の利用者を含めて月2万3千円程度で、店舗運営により3万円まで上げる目標を立てている。

金谷理事長は「障害者の社会的自立は経済的自立が基本。利益を出せる生産体制にした」と話している。

2010.4.2

ハムや総菜など

前橋の直営店で

障害者施設の水士舎

社会福祉法人「上州水土舎」(富岡市)が1日、前橋

市天川大島に、初めての直営店「赤城高原ミート」を開いた。障害がある人たちの自立を支援する取り組みの一つ。店日本財団から12220万円の助成を受け、岡毛線前橋大島駅近くの空き事務所を借りて改装した。店長とスタッフ2人のほかに、知的障害がある5人がコア

ッケを作るなどして働いている。本場、ドイツの製法を学び、ギフトとして高い評価を受けている水土舎のハム・ソーセージを初めて店頭で売る。「地産地消」にこだわり、豚肉や牛肉は上州産を扱う。無添加の調味料をつかったコロッケやトンカツ、サラダなどの総菜をはじめ水土舎でつくっているジャムや卵も並べる。水土舎の知的障害者は、様々な作業を通して1人あたり月平均2万3千円の給料を受け取っているが、直営店の開店で3万円に増やすことを目標にしている。赤城高原ミートの問い合わせは(027・289・5420)へ。